



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし



令和3年 第2回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

特集

かた べ ぜろいち はち
語り部 018 のむら × 議会



臨時会・定例会の報告
議長就任あいさつ
委員会構成

特集

語り部018 のむら



議会

平成30年7月豪雨災害の記憶を風化させないために、昨年10月に災害伝承展示室が乙亥会館内にオープンしました。そこを拠点に語り部として活動されている「語り部018のむら」の皆さんにお話を聞きました。

6月15日乙亥会館（野村町）にて



どんな活動をされていますか。

■災害を後世に語り継ぎ、自分たちが体験した災害の様子を忘れないように将来へ伝えていくことです。たくさんの方が、私たちの話を聞いていただくことにより、防災・減災、命を守ることへとつながると思います。

■水にのまれた様子や野村の相撲文化も伝えたい。語り部の話だけではなく、そこに住む「地域の方の生の声」も聞いてほしい。いろいろな案内の案を、みんなで話し合い、どのような案内をしていくか、コースづくりに取り組みました。

語り部になってよかったと感じることは

■「災害から学ぶ」パッケージ学習の中で、小学生が伝承室に話を聞きに来られました。防災・減災学習のお手伝いができることで、自分自身も防災について意識が高まり、日々学ばせていただいています。そして、きちんと伝えていきたいと思っています。

■松山から高校の放送部の生徒さんが親子で来られて、語り部としてコース案内をしました。その内容を参考に作品を作られ、愛媛県の放送コンテストで入賞し、全国大会に出場することになったそうです。

課題は

■活動開始から8カ月が経過しましたが、コロナ禍の影響で2カ月間活動が休止になり、まだまだ本格的な活動はできてない状態です。より多くの方に参加してもらいたいです。

これからどんな活動がしたいですか

■文字で見ると、言葉で聞くほうがいい、五感で感じる、そういうガイドをつとめたいです。

■災害伝承展示室を中心に、観光的なもの、桂川などのジオサイトも語りに入れていきたい。そして、地域の様子を知ってもらい「まち」を元気にしたいです。

■野村地区だけでなく、豪雨で被害を受けた市内5町のそれぞれの被災状況、当時の様子など地域の方々の細やかな声を聴いていきたいです。

■「備えと避難はとても大切。最終的には命も守りましょう」ということも必ず伝えていきたいと思っています。

市や議会に対して伝えたいこと

■語り部の話を聞いて、地域の特産物を買う、地域の食べ物を味わうことができる、そういった人の流れを作る施策も必要ではないでしょうか。経済効果も大事だと思います。

■やはり記憶は、薄れていくものです。10年・20年たったら忘れてしまうような気がする。どこまで水に浸かったか、家に目印をもらっているけれど、目で見てすぐわかる「モニュメント」があるといいです。



左から、三瀬佳代さん、清家眞里子さん、古賀テル子さん、兵頭眞里さん、稲葉恵子さん

令和3年 第1回臨時会



西予市のこんなことが決まりました。

会 期 5月19日
会議期間 1日間

第1回臨時会の議案は

令和3年度補正予算	1件
専決処分の承認	3件
工事請負契約	1件
教育委員の任命	1件
選挙	4件
委員会委員の選任	2件

全ての議案と結果は、P8をご覧ください。

議長就任あいさつ

西予市議会議長 佐藤 恒夫

市民の皆様方におかれましては、日頃より市議会に対しまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月19日の臨時会において、議長に就任いたしました。市議会運営の重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。

新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束を目指して、地域経済の活性化と市民生活の安定を見据えて、行政と議会が一体となり対策に取り組まなくてはなりません。

現時点では治療薬がなく、ワクチン接種が不可欠です。接種すれば抗体ができ、感染しても発症しにくくなります。

希望される方が、1日でも早くワクチン接種できるようにすることを最優先に考えています。

市民の皆様の声にこたえられるよう誠心誠意尽くして参ります。

今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



佐藤恒夫 議長

宇都宮俊文 副議長

総務常任委員会

所管事項

総務部・政策企画部・会計課・消防本部・教育委員会

他の常任委員会に属しない事項



委員長 源 正樹



副委員長 井関 陽一



河野 清一



佐藤 恒夫



森川 一義



酒井 宇之吉

厚生常任委員会

所管事項

生活福祉部・医療介護部



委員長 中村 敬治



副委員長 竹崎 幸仁



和気 数男



信宮 徹也



宇都宮 俊文



加藤 美香

産業建設常任委員会

所管事項

産業部・建設部・農業委員会



委員長 小玉 忠重



副委員長 宇都宮 久見子



中村 一雅



山本 英明



二宮 一朗



兵頭 学

令和3年 第2回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 6月8日～6月25日

会議期間 18日間

第2回定例会の議案は

令和3年度補正予算	3件
財産の取得	1件
財産の無償譲渡	1件
条例・規則改正	3件
計画策定・変更	2件
道路認定	1件
土地改良事業の施行	2件
工事請負契約	1件
工事変更請負契約	1件
予算繰越に係る報告	6件
特別委員会中間報告	1件
専決処分の報告	1件

今号では、その中から2つをPick up

全ての議案名と結果は、8ページをご覧ください。

〈議案第60号 西予市一般会計補正予算第4号〉

Pick up 2

令和4年度より、三瓶地区の保育環境が変わります

西予市三瓶保育園が、社会福祉法人三瓶福祉会に民間移管されることが1月に決定し、第1回定例会において、西予市保育所条例の一部を改正する条例が制定された。

これに伴い、今定例会では、建物と付属する設備一式の無償譲渡と、民営化に向け施設の改修等を行うため、設計監理委託料と工事請負費が補正予算として計上された。

工事請負費は、新たに始まる病児保育に対応するため、医務室を病児保育室に改修する費用や、老朽化している複合遊具などの撤去、新設するなど保護者アンケートや移管先法人から提出された要望をもとに、改修する予定である。

議案ピックアップ



〈議案第60号 西予市一般会計補正予算第4号〉

Pick up 1

小規模多機能自治の推進に向け、土居地区に地域づくり活動センターを新設します

老朽化した土居公民館にわり、新たに土居地区地域づくり活動センターを建設する。

新築・解体設計委託業務、旧土居保育所・プール解体、造成工事、周辺道路測量設計委託業務、地質調査業務を行い、令和5年4月からセンターを運営する予定である。



昭和42年建築の土居公民館（城川町）

議会運営委員会

委員長	信宮徹也
副委員長	兵頭学
	中村一雅
	河野清一
	小玉忠重
	源正樹
	中村敬治

西予市消防体制 検討特別委員会

委員長	信宮徹也
副委員長	宇都宮俊文
	河野清一
	竹崎幸仁
	小玉忠重
	中村敬治
	兵頭学

常任委員会で所管事務調査を 年間通じて実施

総務・厚生・産業建設の各常任委員会で、各委員会が所管する事項について、任期中に継続して調査を実施することとしました。各委員会の調査事項については、9ページからの委員会報告をご覧ください。

A Q

IP無線機の導入予定数は災害対策本部に5台、消防本部に2台、本部及び現地对策本部内方面隊用として各2台で17台、消防団分と合わせて144台導入する計画である。

A Q

辺地に係る公共的施設総合整備計画における辺地の認定要件とは
辺地度算定点数100点以上であることに加え、市役所、医療機関、郵便局、学校施設、駅や停留所などの主要公共施設との距離を基に、地域内における固定資産課税台帳に登録されている宅地の3・3㎡あたりの価格が最高の地点を中心として、その中心を含む5km以内の面積に50人以上の人口を有している地域である。

5件の議案を審査

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

A Q

マイナンバーカードの利便性向上への取り組みは

A

現在、具体的な検討は行っていないがカードの保険証化が10月から、運転免許証との一体化が令和6年度からの報道がなされている。また、スマートフォンへの搭載についても令和4年度からの話もあり、今後市民の皆様が利用できるサービス内容を調査検討する。

A Q

田之筋放課後子ども教室を長期休業時に実施するための事業委託料44万5千円は少ないのでは

A

田之筋小学校児童数80名のうち、放課後子ども教室の登録児童数は54名で、長期休業中はスタッフを1日4名配置する予定である。

地域づくり協議会からの支援や参加児童から1日300円の参加費を徴収する。



モデル地区の狩江公民館

所管事務調査
ジオパークと地域づくり活動センターの調査・研究

令和5年度、公民館が地域づくり活動センターへの移行をふまえ、令和2年度からモデル地区として、先行している地域（明浜・狩江・宇和・田之筋・野村・横林・城川・土居・三瓶・三瓶南）を順次調査する。

また、令和3年は2度目の再認定審査の年であること、令和4年4月に（仮称）四国西予ジオミュージアムが城川町に完成することなどからジオパークの関連として、ジオサイトを訪問する。

令和3年第1回臨時会議決結果

（令和3年5月19日）

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
承認第2号	専決処分第2号の承認を求めることについて	5月19日	原案承認
承認第3号	専決処分第3号の承認を求めることについて	5月19日	原案承認
承認第4号	専決処分第4号の承認を求めることについて	5月19日	原案承認
議案第49号	（仮称）四国西予ジオミュージアム展示工事請負契約について	5月19日	原案可決
議案第50号	令和3年度西予市一般会計補正予算（第3号）	5月19日	原案可決
議案第51号	西予市教育委員会委員の任命について	5月19日	原案同意

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
選挙第1号	議長の選挙	5月19日	投票
選挙第2号	副議長の選挙	5月19日	投票
選任第1号	常任委員会委員の選任	5月19日	議長指名
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	5月19日	議長指名
選挙第3号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会議員選挙	5月19日	指名推進
選挙第4号	南予水道企業団議会議員選挙	5月19日	指名推進

令和3年第2回定例会議決結果

（令和3年6月8日～6月25日）

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第52号	財産の無償譲渡について	6月25日	原案可決
議案第53号	西予市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	6月25日	原案可決
議案第54号	西予市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	6月25日	原案可決
議案第55号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について	6月25日	原案可決
議案第56号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について	6月25日	原案可決
議案第57号	市道路線の認定について	6月25日	原案可決
議案第58号	西予市営土地改良事業の施行について	6月25日	原案可決
議案第59号	西予市営土地改良事業の施行について	6月25日	原案可決
議案第60号	令和3年度西予市一般会計補正予算（第4号）	6月25日	原案可決
議案第61号	令和3年度西予市介護保険特別会計補正予算（第1号）	6月25日	原案可決
議案第62号	西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について	6月8日	原案可決
議案第63号	令和3年度西予市一般会計補正予算（第5号）	6月25日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第64号	野村支所改築工事（建築工事）請負契約について	6月25日	原案可決
議案第65号	西予市同報系防災行政無線デジタル整備工事（宇和地区）変更請負契約について	6月25日	原案可決
報告第1号	令和2年度西予市一般会計継続費繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第2号	令和2年度西予市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第3号	令和2年度西予市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第4号	令和2年度西予市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第5号	令和2年度西予市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第6号	令和2年度西予市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	6月8日	報告
報告第7号	専決処分事項の報告について	6月8日	報告
発議第2号	西予市議会会議規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則制定について	6月25日	原案可決
議会報告第1号	西予市消防体制検討特別委員会中間報告について	6月25日	報告
	閉会中における各常任委員会の所管事務等の調査について	6月25日	原案可決

表決結果

番号	件名	1 和気 数男	2 宇都宮久見子	3 信宮徹也	4 宇都宮俊文	5 加藤美香	6 中村一雅	7 河野清一	8 佐藤恒夫	9 山本英明	10 竹崎幸仁	11 小玉忠重	12 源正樹	13 井関陽一	14 中村敬治	15 二宮一朗	16 兵頭学	17 森川一義	18 酒井宇之吉	議決結果
承認第2号	専決処分第2号の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	議長	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第3号	専決処分第3号の承認を求めることについて	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第4号	専決処分第4号の承認を求めることについて	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
議案第49号	（仮称）四国西予ジオミュージアム展示工事請負契約について	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	令和3年度西予市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	西予市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
選挙第3号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	欠	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指名推進
選挙第4号	南予水道企業団議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指名推進

（○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権）

※議長は採決には加わりません。

西予市議会のホームページでは、すべての賛否を掲載しています。



● 厚生常任委員会



5件の議案を審査

Q 三瓶保育園の無償譲渡、施設改修内容は

A 4月から第三者委員会と共同保育をそれぞれ開始し順調に進んでいる。施設改修内容は、保護者アンケートや移管先法人から提出された要望をもとに医務室を病児保育室に改修し複合遊具等の撤去、新設を行う。

Q 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の申請方法は

A 児童手当受給者、特別児童扶養手当受給者で住民税非課税世帯には、子育て支援課が対応。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となったものは、本人が申請を行うこととなる。

Q 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の支給条件及び支給金額は

A 総合支援資金等を借り切った世帯で、かつ収入要件、資産要件、ハローワークでの求職要件などを満たすものが対象者となり、単身世帯で月額6万円、2人世帯で8万円、3人以上の世帯で10万円、最大3カ月給付となる。

Q コロナワクチン予約センターの回線拡充、ワクチンロスの状況は

A 電話回線を3回線から5回線に増設し、更にコールバックの仕組みを取り入れ、職員を増強し対応、余ったワクチンはその都度高齢者施設や障害者施設の職員、市職員などに接種しワクチンロスがないよう対応している。

● 産業建設常任委員会



5件の議案を審査

Q 新型コロナウイルス対策営業時間短縮等協力金の実績は

A 時短要請に協力した事業者は156事業者で、現在100事業者の協力金申請を受けている。そのうち6月17日時点で86事業者は振り込みが完了している。

Q 時短営業協力店への巡回は

A 市内への巡回は、原則金曜日午後9時から行い、時短営業に反しているところは1件もなかった。

Q 西予市営土地改良事業のうち、清沢地区のゴム堰改修にかかる地元負担金について、受益面積の※1反当たりの金額は

A 約2万円である。

※1反は約10a。

Q ため池等農地災害危機管理対策事業にて、ため池の廃止を行うが、改修が必要なため池の件数は

A 市内のため池の総数は292池で、改修が必要なため池は52池（うち防災重点ため池は46池）、廃止予定のため池は4池である。

Q 廃止ため池事業の内容は

A 令和12年度までの重点措置にて、防災重点ため池を廃止する場合のみ、国の100%補助があり、地元負担金は発生しない。

Q 県営林道田之筋溪筋線開設の進捗状況は

A 完成延長として、市に払い下げられている路線は、宇和町平野側が357.1m、野村町長谷側が733.9m、合計1091mで、進捗率は約7%であり、令和11年度までの計画である。

所管事務調査

医療、介護、保育職の現状と課題

「エッセンシャルワーカー」と呼ばれる職種は、市民の日常生活を支えるために欠かせない仕事を担っている。

中でも医療・介護・保育職は新型コロナウイルス感染症など緊急事態下においても継続して市民の生活を支えていかなければならない職種であるが、地方においては年々これら従事者の確保が問題となっている。

コロナ禍で厳しい職場環境ではあるがこれらの職種における現状を把握し、課題解決に務めるべく調査研究を行う。



西予市立野村病院

所管事務調査

人口減少をゆるやかにするための産業振興にかかる調査研究

一次産業の後継者不足を補うための方策の1つとして、移住定住者による新規就農が期待できる。

市外からの移住で現実に就農している方々から意見を聞き、実態を調査研究する。

また、市内農業後継者から、現状をお聞きし、課題を探る。

以上2つの視点を切り口として、人口減少を緩やかにする産業振興政策を提案する。



摘果作業をするみかん農家

一般質問



宇都宮 俊文

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 西予市のワクチン接種の進捗状況と今後の計画は

A 電話予約受付開始時には、電話がつかないなどの苦情が多かったが、現在は概ね順調に進んでいる。6月4日からはウェブ予約も可能になり、市役所や各支所・公民館において操作方法の支援を行っている。更に、スムーズに接種予約できるような電話回線を増設した。

耐震性防火水槽整備について

Q 整備費用と明浜地区の代替施設整備の内容は

A 1基あたり国庫補助の基準額が548・6万円で、補助率は2分の1である。

また明浜町狩浜地区においては、耐震性防火水槽の整備において場所選定に苦慮していたが、地元の協力を得て個人の農業用貯水槽6基・南予用水組合管理1基について「緊急水利使用協定」を締結し、火災などの緊急時には使用できることとした。



農業用貯水槽（明浜町）

一般質問



二宮 一郎

教育行政について

Q ICTの環境とGIGAスクール構想の状況は

A 4月から配布した1人1台の学習用端末により、教員は1人ひとりの反応を把握でき、細かな双方向型の授業が可能となる。支援の必要な児童生徒には、個人の特性に合わせた興味関心のあるアプリ等を使用し、効果的な学習が可能となる。不登校児童生徒には、子どもの状況や家庭の理解を得た上で可能な場合はリモート授業を試みたい。

教職員へのICT支援については、GIGAスクールサポーターが巡回し、対応する。

人口減少対策について

Q 移住定住対策についてコロナ禍での問い合わせ状況は

A オンライン相談が主流となり、本気で移住を考えている方々が自ら予約して相談を行うことが多く、具体的な相談が増え、相談者の年齢層が一回り若返った。

移住交流促進事業補助金等を活用して、テレワーク環境やゲストハウス等の整備が進み、移住だけでなく、ワーケーションや多拠点居住、体験移住等が活発になることで、交流人口の拡大につながり、将来的な移住につながればと考える。



一般質問



信宮 徹也

田んぼダムについて

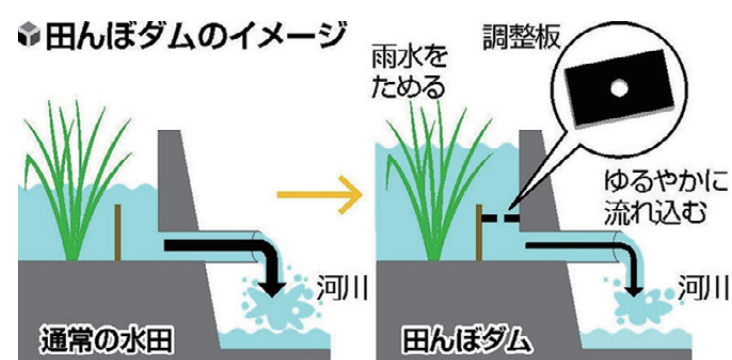
Q 詳細と期待される効果は

A 水田が保有している貯水機能を利用し、水田の排水溝に流出量を抑制する調整盤などを設置することで大雨時の雨水を一時的に貯留するもので、排水路や河川に流れ出る水量を一定時間抑制できるものである。

田んぼダムは河川上流域の水田で取り組むことで、より効果が発揮されるとされており、本市においては、肱川水系の上流域に当たる宇和地区での取組が有効と考えられる。

西予市消防体制について

Q 常備消防指揮命令系統の統一化は



A 新庁舎建設及び宇和島地区消防との通信指令センターの共同運用を予定しており、これに合わせて三瓶町の常備消防管轄を明確にしておく必要があることから、八幡浜地区施設事務組合との協議を進めていく。協議に当たっては、それぞれの立場を尊重し合って互いの消防の発展に結びつくような道筋を模索していく。

一般質問



酒井 宇之吉

行政運営体制について

Q 他の自治体と比較して職員数・人件費の状況は

A 平成17年度の職員数は正規職員で1047人、令和2年度では843人となっており、類似団体と比較すると62人多い状況にある。今年8月末を目標に職員数の定員管理計画を策定し、業務の効率化と組織のスリム化を進め、令和6年度以降、常勤職員を10年間で50人程度（60歳定年を前提）、人件費では約4億円の削減に向けて取り組む予定である。

観光資源について

Q 四国遍路を観光資源としてジオパーク関連で活用できないか



四国霊場八十八ヶ所第43番札所 明石寺（宇和町）

A 四国が世界に誇る生きた文化遺産である四国遍路文化を後世へ確実に受け継いでいくため、札所を有するジオパーク関連地域とも情報を共有し、活用方法を研究していきたい。

また、四国遍路世界遺産登録推進協議会の構成員として、同協議会における遍路道の保全整備に関する取組や、世界遺産登録への申請活動に必要な協力を行っていきたい。

一般質問



中村 一雅

西予市の公共交通網について

Q 交通弱者対策は

A 西予市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通空白地域への生活交通バス及びデマンド乗合タクシーの導入、スクールバス空き時間による運送等により移動手段を確保している。

また、70才以上の市民を対象に「高齢者路線バス利用助成事業」を実施しており、市内の公共路線バスを利用した場合、運賃が半額となる助成券を発行し、高齢者の買い物や通院などの支援を行っている。

小規模多機能自治について

Q 地域づくり活動センターの在り方に関する指針は

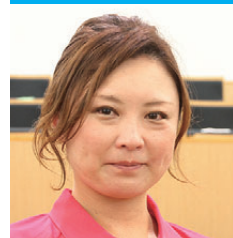


生活交通バス（西予市民病院前）

A 市民検討委員会からの答申でご提案頂いた4つの機能

- ① 課題解決型の住民自治である「地域づくりの場」
 - ② 全ての地域の共通課題といえる安心安全な地域福祉への取組を支援する「支えあい・つながりの場」
 - ③ 生涯学習を推進する「人づくり学びの場」
 - ④ 行政手続きや相談ができる「行政窓口の場」
- これらの4つを今後策定するセンター推進計画の大きな柱とする。

一般質問



宇都宮 久見子

四国西予ジオパークについて

Q 西予市における役割は

A 四国西予ジオパーク等の魅力を認識しつつ、地域に対する郷土愛の醸成を推進し、地域資源を最大限活用して、教育活動、観光振興、産業振興等で地域活性化をはかるということである。

様々な情報を積極的に発信提供することで四国西予ジオパークの認知度を上げ、新たにジオパークに関ってくださる方を増やしたい。

ふるさと納税について

Q 令和2年度の実績と目標は

A 寄付件数1万8665件、前年比137.2%、寄付金額2億6393万1千円、前年比104.0%である。県内自治体との比較では県内20市町の中で件数金額ともに6番目、南予の市町では2番目の実績である。

今年度は件数2万件、金額3億円を目標とし、寄付者のニーズに合わせ、西予市観光物産協会と協力しながら、魅力ある返礼品の種類を増やしていく。



ジオパロシャツ

一般質問



和気 数男

ジェンダー平等について

Q 男女共同参画基本計画書の配布先が少ない。概要版を各世帯に1部配布してはどうか

A 概要版に代わるチラシやリーフレットを、あらゆる家庭や小中学校など、教育現場も含めて配布を検討する。基本計画及び概要版については市ホームページに掲載している。

※ヤングケアラーについて

Q 市内のヤングケアラーの実態と支援状況は

A ヤングケアラーと思われる事を1件把握しており、家族からの聞き取りや、学校関係機関と連携し支援している。



西予市男女共同参画基本計画書

※ヤングケアラー
大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

要保護児童対策地域協議会では、市内各保育所や幼稚園、学校へ訪問し、ヤングケアラーの概念を周知するとともに、実態把握に努めている。

今後も引き続き、関係機関との連携、情報共有をおこない、支援体制の強化を図っていく。

●消防体制検討特別委員会

中間報告（抜粋）

当委員会は西予市の今後の常備消防の施設整備や広域化に対する調査研究と非常備消防の指揮命令系統の統一化問題や人口減少・過疎化に伴う消防団員の確保等を調査研究し消防体制の充実化を検討することを目的に令和2年6月22日に設置された。

当特別委員会では、①常備消防の施設整備②広域化に関する調査研究③非常備消防の指揮命令系統統一化の3点について、調査研究を行っている。

たと確信しており、この流れを止めないように引き続き推進することが望まれる。今後、共同運用及び広域連携に残る南予の3消防本部が参加した場合においても充分に対応できるよう計画を進めること。

非常備消防の指揮命令系統の統一化については、令和3年度中に行政間の協議により問題解決を図ることができない場合は、法令に基づき事務組合からの脱退を要請する。

南予地区の拠点として、消防・救急の充実が図れるよう積極的な意見を出し、より良い消防体制を築けるよう引き続き調査研究を続けていく。

広域化に向けた指令センターの共同運用については、将来の消防広域化に向けて一歩前進し



きかせて！あなたの夢



西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



しみず はな
清水 羽菜さん（田之筋小学校 6 年）

私の夢は、漫画家になることです。私の母は、よく読み聞かせをしてくれました。そのため、私にとって絵本はとても身近な存在でした。そんな中、兄からいくつかの漫画を紹介してもらいました。そのストーリーやイラストに私は引き込まれてしまいました。その日からです。私が、漫画家を目指すようになったのは。今は、漫画家を目指し、自主学习を工夫しています。イラストを交えながら、ノートを分かりやすくまとめています。これにより、学習も楽しくまた、気持ちや場面にあったイラストを描く練習にもなります。私は、勉強になる漫画、元気を与えられる漫画、そして、人の心を動かすことのできる漫画家を目指して、目標を持って生活しています。

議会レポート

議会傍聴席に大型モニター 2台設置



西予市議会では、今定例会から議場に 75 インチの大型モニター 2 台を設置し、本格的に運用を開始しました。傍聴席から議事内容が閲覧できるようになりました。

平成 28 年 12 月にタブレット端末を導入しており、議案書や予算書等が配信されるようになりました。また、議会や委員会などの招集も電子配信され、ペーパーレスと共に合理的な議会運営ができるようになりました。県内の市議会では一番早く、全国的にもとても早い取り組みです。

今後は電子採決システムの導入も検討しています。

◎編集委員
委員長 河野 清一
副委員長 中村 雅
委員 信宮 徹也
宇都宮 俊文
小玉 忠重
源 正樹



久しぶりに編集委員を
拝命して張り切っており
ます。今号で特集ページ
に掲載された語り部さん
たちへの取材がとても勉
強になりました。豪雨災
害のこと・ジオパークの
こと・これからのまちづ
くりなど、様々な視点で
話を聞きました。
市民と行政のかけはし
となるべく頑張って参り
たいと思います。よろし
くお願い致します。
中村 一雅

編集後記

